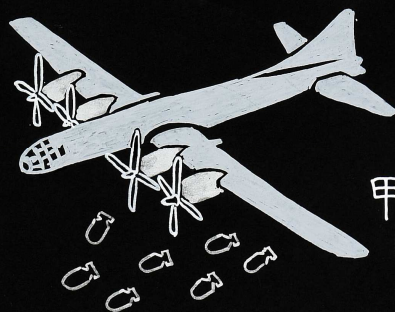


平和について ～甲府空襲を忘れない～

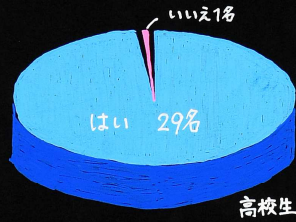
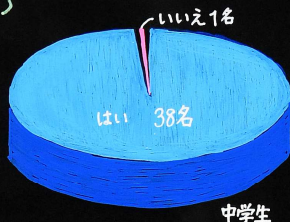


アンケートに協力してくれた皆様



甲府空襲
(別名: たなはた空襲)

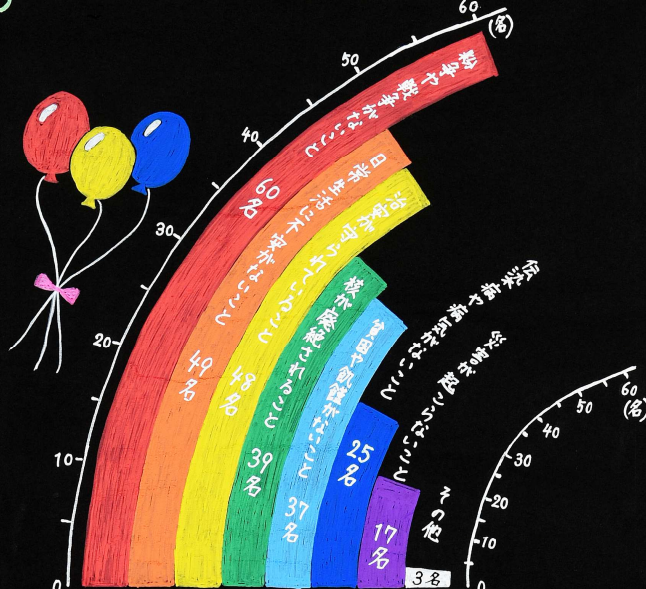
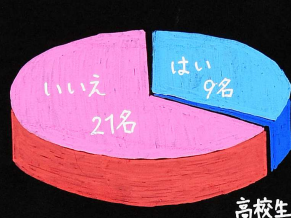
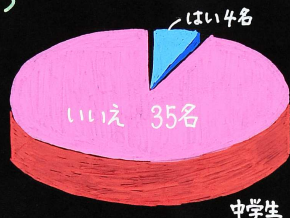
甲府に空襲があったことを知っていますか



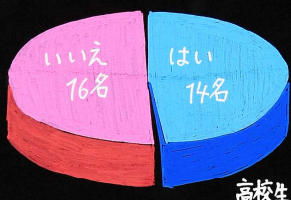
1945年(昭和20年)7月6日深夜～7日にかけて襲撃された
死者: 1127名(男性499名、女性628名) 負傷者: 7239名 被害戸数: 18094戸
爆撃機(B29): 731機飞来 爆撃に参加した米空軍将兵 374名
投下した焼夷弾: 970.4ト
甲府市は市街地の74%(79%とも言われる)が灰じんに帰した

あなたにとって平和とは何ですか(複数回答・中学生高校生合算)

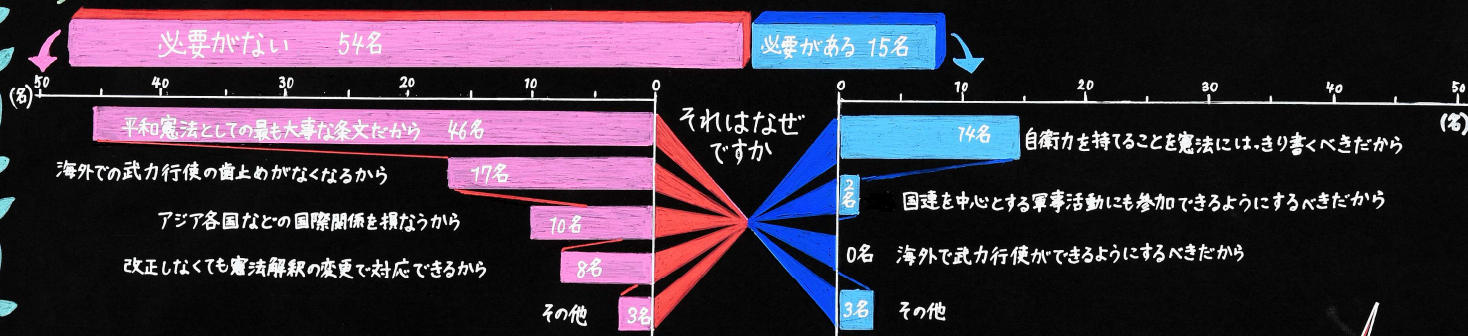
甲府に空襲があった日付けを知っていますか



甲府空襲の体験者から話を聞いたことがありますか



憲法第9条を改定する必要があると思いますか(複数回答・中学生高校生合算)



令和3年7月下旬～
8月上旬

山梨県内中学生39名
高校生30名 アンケート調べ

私達中学生や高校生は、甲府空襲があったことは知っているが
詳細などは不明な人が多かった。特に中学生は祖父母も
戦後生まれの人が多く、身近に体験者が少ないことが考えられる
と思いました。ここ山梨で生活する私達にとって、広島や長崎の原爆
のように「甲府空襲」も後生に伝えていかなければならない責任が
あると思います。もって過去を知り、未来を考えた行動が平和へと
繋がるのではないのでしょうか。
最後にアンケートに協力して下さい。皆様、収集に力添え下さった方々に
感謝します。ありがとうございました。

出典: Wikipedia
総務省ホームページ
NHK NEWS WEB

